

# 芥川龍之介と美の世界 二人の先達—夏目漱石、菅虎雄

Akutagawa Ryunosuke and His Aesthetics, Two Forerunners—Natsume Soseki and Suga Torao

凡例

- ・番号は展覧会図録の番号で、展示順とは必ずしも一致しません。
- ・久留米市美術館で展示しない作品・資料は記載していません。
- ・目録のデータは、作者名、作品名／書名／雑誌名、制作年／発行情報、素材・技法ほか、所蔵先の順です。
- ・同じタイトルの書籍や雑誌を展示替える場合は、全ての所蔵先を五十音で記しています。
- ・会期中、下の日程で3期に分けて展示替えを行います。＊都合により変更する場合があります。
- 1期：10月28日(土)—11月26日(日) 2期：11月28日(火)—12月27日(水) 3期：1月4日(木)—28日(日)

久留米市美術館

会期：2023年10月28日(土)—2024年1月28日(日)



久留米市美術館

KURUME CITY ART MUSEUM  
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015  
TEL 0942-39-1131 FAX 0942-39-3134  
<https://www.ishibashi-bunka.jp/kcam/>

番号	作者名	作品名／書名／雑誌名	制作年／発行情報	素材・技法ほか	所蔵先	1期	2期	3期
<b>序章 「或阿呆」の一生</b>								
序-1	芥川龍之介	「或阿呆の一生」草稿	1927年6月20日		山梨県立文学館	○	○	○
序-2		『改造』第9巻第10号	1927年10月		久留米市美術館	○	○	○
序-3	芥川龍之介(著)、小穴隆一(装幀、挿画)	『或阿呆の一生』	1942年4月、岩波書店		久留米市美術館／ 野田宇太郎文学資料館	○	○	○
序-4		『白樺』第2巻第10号	1911年10月		野田宇太郎文学資料館	○	○	○
序-5		『海紅』第3巻第5号	1917年7月		日本近代文学館	○	○	
序-6	小穴隆一(著)	『二つの絵 芥川龍之介の回想』	1956年1月、 中央公論社		久留米市美術館	○	○	○
序-8	作者不詳	ゴージャス半身像		テラコッタ	個人蔵	○	○	○
序-9	宇野浩二(著)、鍋井克之(装幀)	『芥川龍之介』	1953年5月、 文藝春秋新社		久留米市美術館	○	○	○
<b>第一章 菅虎雄 夏目漱石 芥川龍之介～それぞれのプロフィール</b>								
1-1	斎藤与里	N先生執筆	1949年頃	油彩・カンヴァス	加須市	○	○	○
1-2	津田青楓	夏目漱石像	1974年	紙本墨画淡彩	笛吹市青楓美術館	○		
1-4	津田青楓	漱石と十弟子	1975年頃	紙本著色	新宿区立漱石山房記念館	○	○	
1-5	津田青楓	漱石と十一弟子		紙本著色	くまもと文学・歴史館	○		
1-6		『新小説』第11年第9号	1906年9月		新宿区立漱石山房記念館	○	○	○
1-7		草枕絵巻	1926年	絹本著色	奈良国立博物館			
	白井剛夫	峠の茶屋				○		
	木嶋柳鷗	高砂の能				○		
	吉村忠夫	長良の乙女					○	
	山口蓬春	那古井の温泉					○	
	長山はく子	徘徊する振袖の女						○
	山本麻佐之(丘人)	水の上のオフエリア						○
1-8	松岡映丘	湯煙(草枕)	1928年	絹本著色	練馬区立美術館寄託	○		
1-9	小穴隆一	白衣	1922年	油彩・カンヴァス	日本近代文学館			○
1-10	井川恭	スケッチブック (後ろ姿の芥川ほか)	1913年	鉛筆、淡彩・紙	大阪公立大学大阪市立大学 恒藤記念室		○	○
1-11	井川恭	出雲海岸の芥川	1915年8月	鉛筆、淡彩・紙	大阪公立大学大阪市立大学 恒藤記念室寄託		○	○
1-12	井川恭	田端の家の芥川		鉛筆、コンテ、水彩・紙	大阪公立大学大阪市立大学 恒藤記念室寄託	○	○	
1-13	恒藤(井川)恭(著)	『旧友芥川龍之介』	1949年8月、 朝日新聞社		久留米市美術館	○	○	○
1-14	芥川龍之介	井川恭宛葉書	1915年7月29日		大阪公立大学大阪市立大学 恒藤記念室寄託	○	○	
1-16	芥川龍之介	自画像	1927年	紙本墨画	個人蔵(日本近代文学館寄託)	○		
1-17		『赤い鳥』創刊号	1918年7月		野田宇太郎文学資料館	○	○	○
1-18	鴨居玲	蜘蛛の糸	1982年	油彩・カンヴァス	石川県立美術館	○	○	○
1-19	清水良治	蜘蛛の糸(芥川龍之介より)	2004年	ブロンズ	石川県立美術館	○	○	○

番号	作者名	作品名／書名／雑誌名	制作年／発行情報	素材・技法ほか	所蔵先	1期	2期	3期
<b>第二章 芥川龍之介 夏目漱石 菅虎雄～三人の関わり</b>								
2-1	菅虎雄	第五高等学校開校記念式典職員 総代祝辞	1896年10月10日		熊本大学五高記念館	○	○	
2-2	夏目漱石	第五高等学校開校記念式典教員 総代祝辞(複製)	1897年10月10日		熊本大学五高記念館			○
2-4	夏目漱石	正岡子規に送った句稿(菅虎雄作)			県立神奈川近代文学館			○
2-5	夏目漱石	菅虎雄宛書簡	1900年6月26日		くまもと文学・歴史館			○
2-6	夏目漱石	狩野亨吉、大塚保治、菅虎雄、 山川信次郎宛書簡	1901年2月9日		個人蔵		○	○
2-8-1		『ホトトギス』第8巻第4号	1905年1月		野田宇太郎文学資料館	○	○	
2-8-2		『ホトトギス』第8巻第5号	1905年2月		野田宇太郎文学資料館			○
2-8-5		『ホトトギス』第9巻第1号	1905年10月		くまもと文学・歴史館／ 野田宇太郎文学資料館		○	
2-8-6		『ホトトギス』第9巻第4号	1906年1月		くまもと文学・歴史館／ 野田宇太郎文学資料館			○
2-8-7		『ホトトギス』第9巻第6号	1906年3月		くまもと文学・歴史館／ 野田宇太郎文学資料館			○
2-9-1	夏目漱石(著)、橋口五葉 (装幀)、中村不折(挿画)	『吾輩ハ猫デアル』上編	1905年10月、 大倉書店・服部書店		野田宇太郎文学資料館	○		
2-9-2	夏目漱石(著)、橋口五葉 (装幀)、浅井忠(挿画)	『吾輩ハ猫デアル』中編	1906年11月、 大倉書店・服部書店		野田宇太郎文学資料館			○
2-9-3	夏目漱石(著)、橋口五葉 (装幀)、浅井忠(挿画)	『吾輩ハ猫デアル』下編	1907年5月、 大倉書店・服部書店		野田宇太郎文学資料館			○
2-10		『ホトトギス』第9巻第7号(附録)	1906年4月		くまもと文学・歴史館			○
2-11	夏目漱石(著)、橋口五葉 (装幀)	『鶉籠』	1907年1月、春陽堂		野田宇太郎文学資料館	○		
2-12	夏目漱石	小宮豊隆宛書簡	1906年8月28日		みやこ町歴史民俗博物館	○	○	
2-13	夏目漱石	小宮豊隆宛葉書	1907年8月5日		みやこ町歴史民俗博物館		○	○
2-14	菅虎雄	我猫庵		紙本墨書	博物館明治村	○	○	○
2-15	夏目漱石(著)、橋口五葉 (装幀)	『虞美人草』	1908年1月、春陽堂		くまもと文学・歴史館／ 新宿区立漱石山房記念館	○	○	
2-16		『碧潮』第3号	1908年2月28日		山梨県立文学館	○		
2-18	夏目漱石	小宮豊隆宛葉書	1908年9月14日		みやこ町歴史民俗博物館			○
2-19	寺田寅彦	小宮豊隆宛葉書	1909年1月1日		みやこ町歴史民俗博物館	○		
2-20	夏目漱石(著)、橋口五葉 (装幀)	『三四郎』	1909年5月、春陽堂		新宿区立漱石山房記念館／ みやこ町歴史民俗博物館	○	○	○
2-21	夏目漱石(著)、橋口五葉 (装幀)	『それから』	1910年1月、春陽堂		くまもと文学・歴史館	○		
2-22	夏目漱石(著)、橋口五葉 (装幀)	『門』	1911年1月、春陽堂		くまもと文学・歴史館			○
2-23	夏目漱石	菅虎雄宛書簡	1911年10月23日		新宿区立漱石山房記念館			○
2-24	夏目漱石(著)	『彼岸過迄』	1912年9月、春陽堂		くまもと文学・歴史館	○		
2-26	芥川龍之介	菅虎雄宛書簡	1913年11月17日		山梨県立文学館	○		
2-27	夏目漱石(著)、橋口五葉 (装幀)	『行人』	1914年1月、大倉書店		くまもと文学・歴史館			○
2-28	夏目漱石(著、装幀)	『こゝろ』	1914年9月、岩波書店		くまもと文学・歴史館／ 新宿区立漱石山房記念館	○	○	○
2-29	夏目漱石(著、装幀)	『硝子戸の中』	1915年3月、岩波書店		新宿区立漱石山房記念館	○	○	
2-30	夏目漱石(著)、津田青楓 (装幀)	『道草』	1915年10月、岩波書店		くまもと文学・歴史館／ 新宿区立漱石山房記念館	○	○	○
2-31	夏目漱石(著)、津田青楓 (装幀)、菅虎雄(題字)	『社会と自分』(縮刷)	1915年11月、 実業之日本社		久留米市美術館／ 山梨県立文学館	○	○	○
2-32		『帝国文学』第21巻第11号	1915年11月		日本近代文学館	○	○	
2-33	夏目漱石	菅虎雄宛書簡	1915年11月23日		新宿区立漱石山房記念館			○

番号	作者名	作品名／書名／雑誌名	制作年／発行情報	素材・技法ほか	所蔵先	1期	2期	3期
2-34	芥川龍之介	「鼻」草稿	1915年		山梨県立文学館	○	○	○
2-36		第四次『新思潮』創刊号(復刻)			野田宇太郎文学資料館	○	○	○
2-37	夏目漱石	芥川龍之介宛書簡	1916年2月19日		日本近代文学館	○		
2-38	芥川龍之介	「芋粥」草稿	1916年		山梨県立文学館	○	○	○
2-40	芥川龍之介、久米正雄	夏目漱石宛書簡	1916年8月22日		昭和女子大学図書館	○	○	
2-41	夏目漱石	芥川龍之介、久米正雄宛書簡	1916年8月24日		日本近代文学館			○
2-42	坂本繁二郎	牛	1915年	油彩・カンヴァス	新潟県立近代美術館・ 万代島美術館	○	○	○
2-43	芥川龍之介、久米正雄	夏目漱石宛書簡	1916年8月28日		昭和女子大学図書館			○
2-44		『新小説』第21年第9号	1916年9月		日本近代文学館／山梨県立 文学館	○	○	○
2-46	夏目漱石	芥川龍之介宛書簡	1916年9月2日		日本近代文学館			○
2-47	芥川龍之介	久米正雄宛電報	1916年12月9日発信		こおりやま文学の森資料館	○	○	○
2-48	芥川龍之介	「葬儀の記」原稿	1916年		山梨県立文学館			○
2-49	芥川龍之介	松岡譲宛書簡	1916年12月17日		新宿区立漱石山房記念館	○		
2-51	芥川龍之介	井川恭宛書簡	1916年12月19日		大阪公立大学大阪市立大学 恒藤記念室寄託	○	○	
2-52	夏目漱石(著)、津田青楓 (装幀)	『明暗』	1917年1月、岩波書店		くまもと文学・歴史館／ 新宿区立漱石山房記念館	○	○	○
2-53		『新小説臨時号 文豪夏目漱石』	1917年1月		久留米市美術館／ 野田宇太郎文学資料館	○	○	○
2-56		第四次『新思潮』第2年第2号(復刻)			野田宇太郎文学資料館	○	○	○
2-57	芥川龍之介(著、装幀)、菅 虎雄(題字)	『羅生門』	1917年5月、 阿蘭陀書房		みやこ町歴史民俗博物館	○	○	○
2-58	菅虎雄	『羅生門』題字	1917年		山梨県立文学館			○
2-59	夏目漱石(著)、橋口五葉 (装幀)、中村不折(挿画)	『濛虚集』	1906年5月、 大倉書店・服部書店		野田宇太郎文学資料館			○
2-60	芥川龍之介	久米正雄宛葉書	1917年6月20日		こおりやま文学の森資料館	○	○	○
2-62		『渋柿』第44号(漱石忌記念号)	1917年12月		久留米市美術館	○	○	○
2-63	菅虎雄	方外	1917年	紙本墨書	日本近代文学館			○
2-64	芥川龍之介	北村初雄宛書簡	1918年1月19日		県立神奈川近代文学館			○
2-66	菅虎雄(書)	ペン皿(茶箕)			日本近代文学館			○
2-67	夏目漱石	風月相知		紙本墨書	個人蔵(日本近代文学館寄託)	○	○	
2-68	芥川龍之介	井川恭宛書簡	1918年12月26日		大阪公立大学大阪市立大学 恒藤記念室寄託		○	○
2-69	菅虎雄	我鬼窟	1919年4月	紙本墨書	日本近代文学館			○
2-71	芥川龍之介(著、装幀)、菅 虎雄(題字)	『傀儡師』	1919年1月、新潮社		みやこ町歴史民俗博物館	○	○	○
2-72	芥川龍之介(著)、菅虎雄 (題字)	『羅生門』(再刊本)	1919年6月、新潮社		日本近代文学館			○
2-74	菅虎雄	『羅生門』背文字(試し書き)	1919年	紙本墨書	日本近代文学館			○
2-75	芥川龍之介	「山房の秋」原稿	1920年		山梨県立文学館			○
2-76	安井曾太郎	麓の町	1913年	油彩・カンヴァス	県立神奈川近代文学館			○
2-77	安井曾太郎	水車小屋	1911年頃	油彩・カンヴァス	石橋財団アーティゾン美術館	○	○	○
2-79	津田青楓	九竹草堂絵日記	1917-18年	紙本墨画淡彩	笛吹市青楓美術館	○	○	○
2-80	津田青楓	漱石先生閑居読書之図	1918年	紙本著色	高知県立文学館	○		
2-81	津田青楓	漱石先生読書閑居之図	1921年	紙本著色	新宿区立漱石山房記念館			○
2-82	津田青楓	漱石山房図	1934年	紙本著色	みやこ町歴史民俗博物館			○
2-83	芥川龍之介	小穴隆一宛書簡	1923年8月1日		日本近代文学館			○
2-84	芥川龍之介(著)、小穴隆一 (装幀)	『春服』	1923年5月、春陽堂		久留米市美術館	○	○	○
2-86	芥川龍之介(著)、小穴隆一 (装幀)	『黄雀風』	1924年7月、新潮社		久留米市美術館	○	○	○

番号	作者名	作品名／書名／雑誌名	制作年／発行情報	素材・技法ほか	所蔵先	1期	2期	3期
2-87	松岡譲(編)	『漱石写真帖』	1929年2月、第一書房		野田宇太郎文学資料館	○	○	○
<b>第三章 もうひとつの顔</b>								
3-1	夏目漱石	短冊幅「臣老ぬ」	1897年作句		くまもと文学・歴史館	○		
3-2	夏目漱石	子規へ送りたる句稿(二十四)	1897年4月18日		くまもと文学・歴史館		○	
3-3	夏目漱石	子規へ送りたる句稿(二十七)	1897年12月		くまもと文学・歴史館			○
3-4	夏目漱石	書架図	1903年	水彩・紙	みやこ町歴史民俗博物館		○	○
3-5	夏目漱石	草花写生(鉢植図)	1903年	水彩・紙	県立神奈川近代文学館			○
3-6	夏目漱石	山上有山図	1912年	水彩・紙	岩波書店			○
3-8	夏目漱石	一路万松図	1914年	紙本彩色	岩波書店		○	
3-9	夏目漱石	青嶂紅花図	1915年	紙本彩色	岩波書店			○
3-10	夏目漱石	竹図	1916年	紙本墨画	岩波書店			○
3-11	夏目漱石	煙波縹渺図	1916年	紙本墨画彩色	岩波書店			○
3-12	夏目漱石	スケッチ帖			くまもと文学・歴史館			○
3-13	芥川龍之介	水虎問答之図(小穴隆一宛葉書)	1920年9月22日	紙本墨画	日本近代文学館		○	
3-14	芥川龍之介	田端之河童と本郷之河童(小穴隆一宛速達状)	1920年10月21日	紙本墨画	日本近代文学館			○
3-15	芥川龍之介	耳を拡げている人	1921年10月4日	紙本墨画	日本近代文学館			○
3-16	芥川龍之介	馬の尾にぶらさがる河童、水虎晩帰之図	1922年	紙本墨画	日本近代文学館			○
3-18	芥川龍之介	水虎晩帰之図	1923年8月	紙本墨画	山梨県立文学館		○	
3-19	芥川龍之介	化物帖	1924年頃	紙本墨画	日本近代文学館		○	○
3-20	芥川龍之介	娑婆を逃れる河童		紙本墨画	日本近代文学館			○
3-21	夏目漱石(著)、菅虎雄(題字)	『文学評論』	1909年3月、春陽堂		くまもと文学・歴史館／久留米市美術館		○	○
3-22	山本有三(著)、菅虎雄(題字)	『同志の人々』	1924年11月、新潮社		久留米市美術館		○	○
3-23	山本有三(著)、菅虎雄(題字)	『西郷と大久保』	1927年10月、改造社		個人蔵		○	○
3-24	谷崎潤一郎(著)、菅虎雄(題字)	『文章読本』	1934年9月、中央公論社		久留米市美術館		○	○
3-25	阿部知二(著)、菅虎雄(題字)	『風雪』	1939年9月、創元社		個人蔵		○	○
3-26	菅虎雄(書、刻)	第一高等学校門札	1938年3月31日		東京大学駒場博物館		○	○
3-27	菅虎雄	菅虎雄・岩元禎退官記念謝辞	1933年2月		個人蔵			○
3-28	菅虎雄	皞皞	1934年	紙本墨書	東京大学駒場博物館		○	○
3-29	菅虎雄	與天争高		紙本墨書	東京大学駒場博物館			○
3-30	菅虎雄	氣如龍		紙本墨書	個人蔵		○	○
3-31	菅虎雄	溪深龍出遅		紙本墨書	個人蔵			○
3-33	菅虎雄	浩然游世表		紙本墨書	東京大学駒場博物館		○	○
3-34	菅虎雄	鶴舞千年樹雲生四面山	1940年頃	紙本墨書	東京大学駒場博物館		○	○
3-36		『陵雲無為 菅虎雄先生遺墨法帖』	1972年11月、陵雲無為菅虎雄先生遺墨法帖刊行会		久留米市美術館		○	○
<b>第四章 芥川龍之介と美術</b>								
4-1	Sir Wyke BAYLISS	<i>Five Great Painters of the Victorian Era, Leighton, Millais, Burne-Jones, Watts, Holman Hunt</i>	London: S. Low, Marston & Co., 1902	『ヴィクトリア時代の名画家5人:レイトン、ミレイ、バーン＝ジョーンズ、ワッツ、ホルマン・ハント』	東北大学附属図書館		○	○
4-2		<i>A Catalogue of the National Gallery of British Art (Tate Gallery)</i>	London: Eyre & Spottiswoode	『ナショナル・ギャラリー・オブ・ブリティッシュ・アート(テート・ギャラリー)目録』	東北大学附属図書館			○
4-4	William MORRIS et al.	<i>Lectures on Art: Delivered in Support of the Society for the Protection of Ancient Building</i>	London: Macmillan, 1882	W・モリスほか『古建築物保護協会の主催による芸術に関する講演』	東北大学附属図書館		○	○

番号	作者名	作品名／書名／雑誌名	制作年／発行情報	素材・技法ほか	所蔵先	1期	2期	3期
4-6	Henry Rankin POORE	<i>The new tendency in art; post impressionism, cubism, futurism</i>	New York: Doubleday, 1913	H・R・プア『美術の新傾向 後期印象派、キュビズム、未来派』	日本近代文学館	○	○	
4-8	William MORRIS	<i>The Earthly Paradise</i>	London: Longmans, 1905	W・モリス『地上の楽園』	日本近代文学館		○	○
4-9	William MORRIS	<i>Prose and Poetry (1856-1870)</i>	Oxford Univ. Press, 1913	W・モリス『詩文』	日本近代文学館		○	○
4-10	William MORRIS	<i>The Story of the Glittering Plain or the Land of Living Men</i> (Pocket ed.)	London: Longmans, 1913	W・モリス『輝く平原の物語』(ポケット版)	日本近代文学館		○	○
4-11	J. W. MACKAIL	<i>The Life of William Morris, vols. I &amp; II</i>	London: Longmans, 1912	J・W・マッケイル『ウィリアム・モリスの生涯』	日本近代文学館		○	○
4-12	Arthur CLUTTON-BROCK	<i>William Morris-His Work and Influence</i>	London: Williams & Norgate, 1914	A・クラットン=ブロック『ウィリアム・モリスの作品と影響』	日本近代文学館		○	○
4-14	Oscar WILDE	<i>Salome; A Tragedy in One Act, tr. from the French of O. Wilde, with sixteen drawings by Aubrey Beardsley</i>	London: John Lane, 1912	O・ワイルド『サロメ：ワイルドのフランス語から翻訳された一幕の悲劇、オーブリー・ビアズリーによる16枚の挿絵付』	日本近代文学館		○	○
4-16	石井柏亭	滞船	1913年	水彩・紙	和歌山県立近代美術館			○
4-17	石井柏亭	並蔵	1913年	水彩・紙	府中市美術館		○	○
4-18	藤島武二	うつつ	1913年	油彩・カンヴァス	東京国立近代美術館		○	○
4-19	斎藤豊作	夕映の流	1913年	油彩・カンヴァス	東京国立近代美術館		○	○
4-20	南薫造	六月の日	1912年	油彩・カンヴァス	東京国立近代美術館		○	○
4-21	南薫造	メモ(芥川龍之介の短歌)			田端文士村記念館		○	○
4-23	芥川龍之介	井川恭宛書簡	1913年11月19日		大阪公立大学大阪市立大学 恒藤記念室寄託		○	○
4-24	中林梧竹	仰山問寂㊦	50歳代後半(1880年代)	紙本墨書	小城市立中林梧竹記念館		○	
4-25	中林梧竹	鏡裏芙蓉一色開	60歳代前半(1890年頃)	紙本墨書	小城市立中林梧竹記念館		○	○
4-27	斎藤与里	木蔭	1912年	油彩・カンヴァス	加須市		○	○
4-28	木村荘八	祖母と子猫	1912年	油彩・カンヴァス	東京都現代美術館		○	○
4-29	岸田劉生	第2回フェウザン会展会場装飾画	1913年	油彩・ボール紙	笠間日動美術館		○	○
4-30	木村荘八	道のある風景	1914年	油彩・カンヴァス	郡山市立美術館		○	○
4-33	フィンセント・ファン・ゴッホ	パイプをくわえた医師ガジェの肖像	1890年	エッチング	神奈川県立近代美術館		○	○
4-34	梅原龍三郎	椿	1915年	油彩・カンヴァス	神奈川県立近代美術館		○	○
4-35	芥川龍之介	井川恭宛書簡	1915年4月14日		大阪公立大学大阪市立大学 恒藤記念室寄託		○	○
4-37	オーブリー・ビアズリー	おまえの口に口づけしたよ、ヨカーナーン(オスカー・ワイルド『サロメ』挿絵)	1893年	ラインブロック/ブルー版	郡山市立美術館		○	○
4-38	オーブリー・ビアズリー	タンホイザー		写真製版/ブルー版	郡山市立美術館			○
4-40		『白樺』第5巻第4号	1914年4月		野田宇太郎文学資料館		○	○
4-41	ウィリアム・ブレイク	ロバート・ブレア作『墓』より	1808年	エッチング、ラインエン グレーヴィング	郡山市立美術館			
-1		死を迎える悪徳の強者					○	
-2		生命と離れ難く、肉体の上を漂う魂						○
-3		審判の日						○
4-42	芥川龍之介	井川恭宛書簡	1915年9月21日		大阪公立大学大阪市立大学 恒藤記念室寄託		○	○
4-43	Henry THODE	<i>Michelangelo und das Ende der Renaissance, Band 3: Der Künstler und seine Werke</i>	Berlin: Grote, 1912	H・トーデ『ミケランジェロとルネサンスの終焉-3. 画家と作品』	九州大学附属図書館		○	○
4-44	Émile MICHEL	<i>Rembrandt-his life, his work, and his time</i>	London: Heinemann, 1903	エミール・ミシェル『レンブラント、その人生と作品と時代』(英訳)	日本近代文学館		○	○
4-46	レンブラント・ファン・レイン	帽子と襟巻を着けた暗い顔のレンブラント	1633年	エッチング	石橋財団アーティゾン美術館		○	○
4-47	レンブラント・ファン・レイン	大きな樹と小屋のある風景	1641年	エッチング	石橋財団アーティゾン美術館		○	○

番号	作者名	作品名／書名／雑誌名	制作年／発行情報	素材・技法ほか	所蔵先	1期	2期	3期
4-48	レンブラント・ファン・レイン	版画商クレメント・デ・ヨンゲ	1651年	エッチング、ドライポイント、ビュラン	石橋財団アーティゾン美術館	○		
4-49	レンブラント・ファン・レイン	聖母の死	1639年	エッチング	石橋財団アーティゾン美術館		○	○
4-50	レンブラント・ファン・レイン	説教するキリスト	1652年頃	エッチング、ドライポイント、ビュラン	石橋財団アーティゾン美術館			○
4-51		『白樺』第5巻第1号	1914年1月		久留米市美術館	○	○	○
4-52		『白樺』第5巻第2号	1914年2月		久留米市美術館	○	○	○
4-53	Hugh STOKES	<i>Francisco Goya; A Study of the Work and Personality of the Eighteenth Century Spanish Painter and Satirist</i>	London: Jenkins, 1914	H・ストークス『フランシスコ・ゴヤ:18世紀スペインの画家・風刺画家の作品と作者に関する研究』	日本近代文学館	○	○	
4-55	フランシスコ・デ・ゴヤ	ロス・カプリチヨス(気まぐれ)		エッチング、アクアチント、ドライポイント、ビュラン	神奈川県立近代美術館			
-1		1 扉絵(自画像)	1796年以降				○	○
-2		22 可愛そうな娘たち!	1796-98				○	○
-3		36 ひどい夜	1796-98					○
-4		51 おめかしごっこ	1796-98					○
-5		64 よいご旅行を	1796-98					○
4-56	芥川龍之介	井川恭宛書簡	1915年12月3日		大阪公立大学大阪市立大学 恒藤記念室寄託		○	○
4-57	山脇信徳	叡山の雪	1915年	油彩・カンヴァス	高知市	○	○	○
4-58	堀進二	老婆	1915年	ブロンズ	東京藝術大学	○	○	○
4-59	坂本繁二郎	海岸の家	1915年	油彩・カンヴァス	愛知県美術館	○	○	○
4-60	岸田劉生	代々木附近	1915年	油彩・カンヴァス	豊田市美術館	○	○	○
4-61	安井曾太郎	孔雀と女	1914年	油彩・カンヴァス	京都国立近代美術館	○	○	○
4-63	コンスタンタン・ギース	酒場		水彩・紙	石橋財団アーティゾン美術館	○	○	
4-64	芥川龍之介	井川恭宛書簡	1917年9月4日		大阪公立大学大阪市立大学 恒藤記念室寄託	○	○	
4-65		『新小説』第23年第10号	1918年10月		日本近代文学館/ 山梨県立文学館		○	○
4-66	伝与謝蕪村	芭蕉涅槃図		紙本彩色	日本近代文学館			○
4-67	浅井忠	狂女(村子規句)	1898年頃	絹本着色	千葉県立美術館		○	○
4-68	浅井忠	古城(村子規句)	1898年頃	絹本着色	千葉県立美術館		○	
4-69	浅井忠	農婦	1902年	油彩・カンヴァス	千葉県立美術館	○	○	○
4-70	芥川龍之介	下島勲(空谷)宛書簡	1918年12月8日		日本近代文学館			○
4-71	下島勲(著)	『芥川龍之介の回想』	1947年3月、靖文社		久留米市美術館	○	○	○
4-72		『大雅筆、蕪村筆 十便十宜画帖』	1912年3月、芸艸堂		久留米市美術館	○	○	○
4-73	穎原退蔵(編)	『蕪村全集』	1925年11月、 有朋堂書店		久留米市美術館	○	○	○
4-74	芥川龍之介(著)	『影燈籠』	1920年1月、春陽堂		久留米市美術館	○	○	○
4-75	村山槐多	風景 松	1918年頃	油彩・カンヴァス	公益財団法人かみや美術館	○	○	○
4-76		『新小説』第25年第9号	1920年9月		久留米市美術館	○	○	○
4-77	村山槐多(著)	『槐多の歌へる』	1920年6月、アルス出版		久留米市美術館	○	○	○
4-78	芥川龍之介(著)、森田恒友(装幀)	『点心』	1922年5月、金星堂		久留米市美術館	○	○	○
4-79	関根正二	死を思う日	1915年	油彩・カンヴァス	福島県立美術館寄託	○	○	○
4-80	関根正二	風景	1915年頃	油彩・カンヴァス	福島県立美術館寄託	○	○	○
4-81	関根正二	女の顔	1918年	墨、インク、油彩、紙	神奈川県立近代美術館		○	○
4-82	関根正二	子供	1919年	油彩・カンヴァス	石橋財団アーティゾン美術館	○	○	○
4-83	菊池寛(著)、芥川龍之介(装幀)	『我鬼』	1919年7月、春陽堂		野田宇太郎文学資料館	○	○	○
4-84		『新小説』第24年第10号	1919年10月		野田宇太郎文学資料館	○	○	○

番号	作者名	作品名／書名／雑誌名	制作年／発行情報	素材・技法ほか	所蔵先	1期	2期	3期
4-85	谷崎潤一郎(著)、水島爾保布(画)	『人魚の嘆き・魔術師』	1919年8月、春陽堂		日本近代文学館	○	○	
4-86	龍村平藏(創案)	周平双思孝	1919年	綾地 絵緯	株式会社龍村美術織物	○		
4-87	龍村平藏(創案)	周平双思孝 図案	1919年	紙本彩色	株式会社龍村美術織物	○		
4-88	龍村平藏(創案)	男衾三郎絵巻錦	1919年	縹子地 絵緯	株式会社龍村美術織物	○		
4-89	龍村平藏(創案)	市女傘花文錦	1919年	縹子地 絵緯	株式会社龍村美術織物		○	
4-90	龍村平藏(創案)	双鳥花繡文錦	1919年	縹子地縹縹子地紋 絵緯	株式会社龍村美術織物			○
4-93	中川一政	静物(びん・白布)	1921年	油彩・カンヴァスボード	神奈川県立近代美術館	○	○	○
4-94		『中央美術』第6巻6号	1920年6月		久留米市美術館	○	○	○
4-95	近藤浩一路(著)	『漫画坊っちゃん』	1918年11月、新潮社		久留米市美術館	○	○	○
4-96	近藤浩一路(著)	『漫画吾輩は猫である』	1925年7月(改版)、新潮社(初版1919年)		久留米市美術館	○	○	○
4-97	近藤浩一路	東寺春隣	1924年頃	紙本墨画	近藤浩一路記念南部町立美術館		○	○
4-98	近藤浩一路	門内無限	1924年頃	紙本墨画	近藤浩一路記念南部町立美術館	○		
4-99		『人間』第2巻9月号	1920年9月		久留米市美術館	○	○	○
4-100	大島支郎(編)	『田能村竹田 全』	1912年10月、豊南書堂		久留米市美術館	○	○	○
4-101	芥川龍之介(著)、小穴隆一(装幀)	『沙羅の花』	1922年8月、改造社		久留米市美術館	○	○	○
4-102	今関寿麿(編)	『東洋画論集成』	1915年12月(上巻)、1916年1月(下巻)、読画書院		神奈川県立近代美術館	○	○	○
4-103	芥川龍之介	樹木図	1920年頃	紙本墨画	日本近代文学館	○	○	
4-104	小穴隆一(著)	『芥川龍之介遺墨』	1960年4月、中央公論美術出版		久留米市美術館	○	○	○
4-105	芥川龍之介(著)	『地獄変他六篇』	1921年9月、春陽堂		久留米市美術館	○	○	○
4-106	芥川龍之介(著)、小穴隆一(装幀)	『夜来の花』	1921年3月、新潮社		久留米市美術館	○	○	○
4-107	小穴隆一	田端駅裏口	1914年	油彩・カンヴァス	田端文士村記念館	○	○	○
4-108	芥川龍之介(著)、恩地孝四郎(装画)	『百艸』	1924年9月、新潮社		久留米市美術館	○	○	○
4-109		『中央美術』第7巻第3号	1921年3月		久留米市美術館	○	○	○
4-110	小杉未醒	水郷	1911年	油彩・カンヴァス	東京国立近代美術館	○	○	○
4-111		『中央公論』第37年第3号	1922年3月		日本近代文学館	○	○	
4-112	香取秀真	烏銅鳳凰香炉	1911年	鍍金	千葉県立美術館	○	○	○
4-113	香取秀真	金銅獅脚盞	1925年	鍍金	千葉県立美術館(北詰コレクション)	○	○	○
4-114	山本鼎	哥路(ころ)	1917-18年	木版	神奈川県立近代美術館	○		
4-115	横山大観	写生帖			横山大観記念館	○	○	○
4-116	横山大観	写生帖			横山大観記念館	○	○	○
4-117-1		『支那美術』第1巻第2号	1922年9月		関西大学図書館	○	○	
4-117-2		『支那美術』第1巻第3号	1922年10月		関西大学図書館			○
4-118	岸田劉生	野童女	1922年	油彩・カンヴァス	神奈川県立近代美術館寄託	○	○	○
4-119	芥川龍之介(著)、小穴隆一(装幀)	『支那遊記』	1925年11月、改造社		久留米市美術館	○	○	○
4-120	アドルフ・モンティセリ	庭園の貴婦人	1870-80年	油彩・板	石橋財団アーティゾン美術館	○	○	○
4-121	ピエール=オーギュスト・ルノワール	水浴の女	1907年頃	油彩・カンヴァス	石橋財団アーティゾン美術館	○	○	○
4-122	春木南湖	木村兼葭堂像	1828年(文政11)	紙本墨画	東京藝術大学	○		
4-123	木村兼葭堂	蘭石小禽図	1769年(明和6)	絹本着色	個人蔵			○
4-124	木村兼葭堂	溪山訪友図	1800年(寛政12)	絹本着色	個人蔵			○
4-125	木村兼葭堂	『兼葭堂雑録』巻之1～巻之5	1859年(安政6)		関西大学図書館	○	○	○
4-128	芥川龍之介、菊池寛	永見徳太郎宛書簡(尺牘集3)	1919年4月30日		長崎歴史文化博物館	○	○	

番号	作者名	作品名／書名／雑誌名	制作年／発行情報	素材・技法ほか	所蔵先	1期	2期	3期
4-130	芥川龍之介	「序に換ふる小品」原稿	1922年6月		長崎歴史文化博物館	○	○	○
4-131	永見徳太郎(著)、山村耕花(装幀)、南薫造(口絵)	『阿蘭陀の花』	1925年3月、四紅社		久留米市美術館	○	○	○
4-132	芥川龍之介	餅花を今戸の祢こにささげばや	1925年	短冊	日本近代文学館	○		
4-134	芥川龍之介	餅花を今戸の猫にかささはや		短冊	日本近代文学館		○	
4-136	岡本一平	漱石八態		紙本着色	川崎市岡本太郎美術館	○	○	○
4-137	オーギュスト・ロダン	ウゴリーノ		水彩・紙	神奈川県立近代美術館	○	○	
4-138	Camille MAUCLAIR	<i>Auguste Rodin: the man, his ideas, his works</i>	London: Duckworth, 1909	カミュー・モークレール『オーギュスト・ロダン：人、思想、作品』(英訳)	日本近代文学館	○	○	
4-140	芥川龍之介(著)、小穴隆一(装幀)	『湖南の扇』	1927年6月、文藝春秋社		久留米市美術館	○	○	○
4-141	オーギュスト・ロダン	パオロとフランチェスカ	1887-89年頃	ブロンズ	静岡県立美術館	○	○	○
4-142		『改造』第9巻第4号	1927年4月		県立神奈川近代文学館			○
4-143	芥川龍之介(著)、小穴隆一(装幀)	『文芸的な余りに文芸的な』	1931年7月、岩波書店		久留米市美術館	○	○	○
4-144	ヴァシリー・カンディンスキー	詩版画集『響』より	1912年	木版	宮城県美術館			
-1		抒情的なるもの					○	
-2		即興5						○
-3		即興19						○
4-147	中原悌二郎	若きカフカス人	1919年	ブロンズ	新潟大学	○	○	○
4-148	堀進二	中原悌二郎像	1916年	ブロンズ	神奈川県立近代美術館	○	○	○
<b>第五章 末期の眼</b>								
5-1	芥川龍之介	「或旧友へ送る手記」原稿	1927年		日本近代文学館	○	○	○
5-3	菊池寛	弔辞	1927年		日本近代文学館			○
5-4		『文藝春秋』第5年第9号	1927年9月		久留米市美術館／野田宇太郎文学資料館	○	○	○
5-5		『改造』第9巻第9号	1927年9月		久留米市美術館	○	○	○
5-6	芥川龍之介	「歯車」原稿	1927年		日本近代文学館	○	○	○
5-7	Hans PRINZHORN	<i>Bildneri der Geisteskranken: Ein Beitrag zur Psychologie und Psychopathologie der Gestaltung</i>	Berlin: Springer, 1922	ハンス・プリンツホルン『精神病者の芸術性：造形の心理学と精神病理学への貢献』	神奈川県立近代美術館(仲田文庫)	○	○	○
5-8		『文藝春秋』第5年第10号	1927年10月		久留米市美術館	○	○	○
5-9	芥川龍之介(著)、小穴隆一(装幀)	『侏儒の言葉』	1927年12月、文藝春秋社		久留米市美術館	○	○	○
5-10	芥川龍之介(著)、小穴隆一(装幀)	『三つの宝』	1928年6月、改造社		久留米市美術館	○	○	○
5-11	佐藤春夫(編)	『おもかげ』	1929年2月、座右宝刊行会		野田宇太郎文学資料館	○	○	○
5-12	芥川龍之介(著)、小穴隆一(装幀)	『西方の人』	1929年12月、岩波書店		久留米市美術館	○	○	○
5-14		『文藝』第1巻第2号	1933年12月		久留米市美術館	○	○	○
5-15	古賀春江	サーカスの景	1933年	油彩・カンヴァス	神奈川県立近代美術館	○	○	○
5-16	北代省三(デザイン)	横山はるひバレエ公演『河童』ポスター	1951年	印刷物	川崎市岡本太郎美術館		○	○
5-17	北代省三(表紙)	『BALLET MODERNE』創刊号	1951年		新居浜市美術館(山崎英夫アーカイブ)		○	○



芥川龍之介《水虎晚帰之図》(部分) 1923年 山梨県立文学館 (3-18)